

2023 年度 自己評価公表

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 こうのとり保育園

法人理念

～キリスト教精神による隣人愛～

こうのとり保育園 教育・保育理念

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章にのっとり、健康で安全・安心な乳幼児の教育・保育を目指します。

- *愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- *一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- *自己発揮できる感興の中で創造性を育てる。
- *在園・地域の子育て家庭が心豊かな環境で子育てできるように支援する。

こうのとり保育園では、「保育者のための自己評価チェックリスト～保育者の専門性の向上と園内研修の充実のために～」を使い、職員が自己評価を行いました。自己評価の結果から見えてきた、園としての課題を職員間で共有し、教育・保育の質の向上のため次年度の取り組みにつなげていきたいと思えます。

	自己評価結果・課題
第1章 総則 教育・保育の基本 1, 教育・保育の基本 2, 教育及び保育の配慮 3, 教育課程・全体的な計画、指導計画作成と評価「ねらい」及び「内容」 4, 特別支援教育・障害児保育 5, 「育みたい3つの資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」 6, 子どもの発達	「こども基本法」成立の意義と「こどもまんなか社会」の実現に向けてを意識し、今自分たちに求められている保育は何か、日常の中で大切にしていきたいことは何かと再度考え、振り返りを行う。今子どもたちが何に興味関心を示しているかを職員同士で把握し、子どもが主体的に過ごせるような保育環境を考え、一人ひとりの生活リズムを把握し、より丁寧な関わりが出来るよう、流れる保育を取り入れ、丁寧に関わるようにしている。保育者間では、日々の情報共有についても語り合いの時間を大切にしながら子どもの姿を把握するようにしていくことを再確認した。
第2章 1, 乳児保育に関するねらい及び内容 2, 1歳以上3歳未満児の保育に関するねらい及び内容 3, 保育の実施に関わる配慮事項(乳児・1歳以上3歳未満) 4, 3歳以上児の保育に関わるねらい及び内容	子どもたちが見守られている安心感の中で成長していけること、日々の応答的な関わりの中で、愛着関係を築き、年齢発達に応じて、必要な部分には時間を掛けて関わる事が出来る環境を作っている。 保育の中では特に表現の分野を職員自身が苦手としていることが分かり、どのように教育・保育に活かしていくことが望ましいか得意な職員との話し合いを行い、教育・保育に活かしていくことを話し合った。
第5章 職員の資質向上	職員会議の時間を使い、教育・保育について自分の意見や考えを相手に伝えることができる環境や、ドキュメンテーションを見合い、互いに学びを深めている。また職員間での語り合いの時間を定期的に確保し、保育観を共有し合うことで、より良い教育・保育の提供につながり、一人ひとりの資質向上へと繋がっている。

全体として

今年度、ドキュメンテーションについての学びに力を入れてきたことで、全体的に職員の子どもの見方が養われてきた。「一人ひとりを丁寧に教育・保育をする」という視点から、一人ひとりにあわせた教育保育を提供することが出来るようになってきている。今後も子どもの姿を丁寧に見取り、より良い保育の質の向上を目指していきたい。